

## 教育を中心とした生成 AI の利用に関するガイドライン

令和 6 年 3 月 19 日

山形大学

### ●本ガイドラインの目的

急速に進展と普及を見せる、人工知能（AI）を使った生成 AI に対して社会的な関心が大きくなっています。入力した質問に AI が文章を生成して答える対話型のソフト「ChatGPT」が公開されて以来、バージョンの更新とともに生成する文章の質や正確さの飛躍的な向上が話題となっています。すでに試してみたり積極的に使用したりしている方も多いことでしょう。

生成 AI を含む高度 AI は、新しいツールとして人間の知的活動を補助し、うまく利用すれば、さまざまな分野で役立つことが期待されています。一方で、収集された膨大なデータの扱いなどがブラックボックスとなっているために、導入への懸念も指摘されています。

本ガイドラインは、本学の教職員及び学生（附属学校の児童生徒を除く。以下同じ）が教育活動や就職活動において生成 AI を利用するにあたり注意すべき事項を記したものです。

本ガイドラインをよく読んでいただき、生成 AI を適切に利用してください。

### ●生成 AI を利用する際に注意すべきこと

#### 信頼性について

テキスト、画像、動画、音声など、出力されるものには、不正確なものや矛盾するもの、バイアスがかかっているものなどが含まれていることがあるため、出力されたものの内容の確認・裏付けを行い、安易に信頼しないこと。

#### 情報の保護について

入力した情報が別の回答に利用されて、意図しない形で流出・漏えいする可能性があるため、個人情報や機密情報・研究成果などの入力は避けること。

#### 権利の侵害について

生成されたものを利用することで、意図せず既存の著作物に係る権利などを侵害してしまう可能性があるため、生成されたものを利用する際には、権利関係の調査を必ず行うこと。

<学生の皆様へ>

●学修における生成 AI の利用に関する注意事項

大学における学修は学生が主体的に学ぶことが本質であり、本学でも教育ビジョンで「深く考え実行する力の育成」を掲げています。生成 AI の出力をそのまま用いるなど学生自らの手によらずにレポート等の成果物を作成することは、学生自身の学びを深めることに繋がらないため、不適切と考えられます。

今後、生成 AI がさらに発展し社会で当たり前に使われていくことが想定されることや、利活用することが教育において有効と想定される場面があることから、本学では一律に生成 AI についての利用制限は設けませんが、授業や課題によっては個別に制限を設けている場合があるため教員の指示に従ってください。生成 AI の使用により単位が認められない場合や懲戒の対象行為である不正行為と見なされる場合があります。

利用する場合においても、利用について明示したり、自分の考えと区別し記録したりするなどの工夫が必要です。

●就職活動における生成 AI の利用に関する注意事項

採用側は、皆さんのありのままを知りたいと考えています。そのために、エントリーシートで書かれている内容について、面接の際に詳しく質問し、深く理解するようにしています。生成 AI を利用して架空のことや説明できない内容をエントリーシート等に記載することは厳に慎んでください。

文章の推敲や誤字脱字の確認、文章構成の修正等には生成 AI を利用できると考えられますが、自分らしさを表現する補完的な形で活用し、等身大の自分を表現することを心掛けてください。

生成 AI の利用が進んでも、客観的で論理的な文章理解や文章生成の能力育成は、大学教育における重要な目標の一つです。学生の皆さんは、自ら学び、自ら考え、考えたことを表現することへの努力を惜しまないでください。

<教員の皆様へ>

●学修指導上の生成 AI の利用に関する注意事項

本学では学生に対し、一律に生成 AI についての利用制限は設けませんが、教育においては学生の「自ら学ぶ能力」を向上させる必要があるため、生成 AI を利用するには適切に使用することが求められます。

学修の目的に応じて、授業や指導における生成 AI の利用の可否、利用場面や利用方法を学生に対し明確に指示・説明してください。

学生に生成 AI を利用させない場合でも、学生が生成 AI を利用する可能性を念頭に置き、必要に応じて課題や評価方法の工夫を行ってください。

生成 AI は、今後さらに発展し社会で当たり前に使われていくことが想定されるため、授業で生成 AI の出力を体験するなど教育活動に取り入れることも考えられます。

例えば、生成 AI を利活用することが有効と想定される場面も以下のとおりです。

利活用することが有効と想定される場面の例

ブレインストーミング、論点の洗い出し、情報収集、文章校正、翻訳やプログラミングの補助等の学生による主体的な学びの補助・支援など

学生の指導に当たっては、今回の生成 AI をはじめ、学生を取り巻く様々な社会問題について引き続き適切に情報収集を行うようにしてください。

(参考)

・「大学・高専における生成 AI の教学面の取扱いについて（周知）」（令和 5 年 7 月 13 日 文部科学省高等教育局 事務連絡）

・「生成 AI を活用するための基本方針」（令和 5 年 11 月 29 日 山形大学）